

人 チーム 制度



契約社員から正社員となり幅広く活躍！
子供のころからの夢に毎日奮闘中！！

(株)オリエンタルコンサルタンツ 堀田 陽子 さん

今回ご紹介するのは、(株)オリエンタルコンサルタンツでランドスケープの仕事に携わる堀田さん。2013年に転職され、現在の部署に所属されました。契約社員から正社員となり「会社の看板を背負った責任者」を目指す堀田さんの経験と今後の抱負についてお話をお伺いしました。

子供のころの夢とこれまで歩んできた経歴を教えてください。

子供のころから農業や植物に興味がありました。大学時代にランドスケープデザインという仕事を知り、とても感動したのを覚えています。ただ、それが自分の生業になるのか自信が持てず、しばらく紆余曲折があったのですが、2006年頃から本格的に造園コンサルタントに就職し、その後デザイン事務所での下積みを経て2013年にオリエンタルコンサルタンツに入社しました。

プロフィール

氏名 : 堀田 陽子さん
 所属 : 都市政策・デザイン部
 勤続年数 : 4年 (2013年中途入社)
 居住地 : 東京都練馬区
 家族構成 : 人見知りな猫1匹
 資格 : 技術士(都市及び地方計画)
 登録種別: スカプアーキテクト
 1級造船施工管理技士
 2級ビオトープ管理技士
 勤務状況 : 通常勤務

現在、どのような仕事をしていますか？

現在の業務の対象は、都市公園を始め、公園に付属する展示施設の外構設計、未利用地の有効活用提案など、公園的な利用ができる「人のための屋外空間全般」です。

今までは設計に携わることが多かったのですが、今後は、基本構想から実施設計、ワークショップ、現場監理に至るまで幅広く仕事ができるようにしたいと奮闘中です。また昨年に契約社員から正社員となり、管理技術者として仕事をしたり、社内のワーキングに参加したりと様々なことを任せられるようになり、責任が重くなった分だけ更にやりがいを感じています。

前職とのちがいは何ですか？

前職は民間事業の設計が多く、与えられたスペックに対して「形として受け入れられるデザイン」が要求されていました。現在も、もちろん設計をすることが多いのですが、それ以上に「場所としての価値を高めるスペック」自体が求められていて、そ

のための「根拠は何か」ということを発注者と一緒で作っているという感覚がありません。

これまでで一番大変だと感じたことは何ですか？


やはり、転職してすぐが「一番大変だな」と思いました。環境や、仕事で求められていること、求められているレベルがこれまでと全く異なっていたので、毎日が必死でした。どうすれば不慣れなことを一刻も早く身につけられるのか、ということを実行錯誤していて、同僚は年下がほとんどでしたが、見習えることは何でも見習おうという気持ちで日々過ごしていました。これまで当たり前だと思っていたことががらりと変わってしまうので、転職って大変ですね。もうしたくないです。笑。

今、目指していることは何ですか？

これまでは、「良いものができた、ありがとう」と言ってもらえるような仕事がしたいな、と思っていたのですが、それはもうプロとしては「当たり前」でなければいけなくて、これからは「困ったら、オリコンさんに頼もう」と言ってもらえる会社の看板を背負った責任者になりたいなと思っています。ただ、それはチームとして受け入れられる体制がないと実現しないと思うので、「堀田さんがやっているような仕事をしてみたいな。」「一緒に仕事をしたら楽しそうだな。」と意識してもらえるような仕事への取り組み方と実力を付けたいと思っています。

後輩社員に一言お願いします！！

特に女性社員の方へ伝えたいのですが、やっぱり女性には女性特有の様々な「ライフイベント」があるのは事実なので、意識的であっても無意識であっても「焦りがち」になってしまう傾向があるように思います。けれど「身につけられる技術はその時その時にしかないというのは男性も女性も同じ」だと思うので、今向き合っている仕事を大切に、しっかりと取り組んで得られる経験と知識を着実に積み重ねてほしいと思います。きっと自ら獲得した技術は未来の自分を裏切らない

ある1日のスケジュール												
6時00分	8時00分	9時00分		12時00分	13時00分	16時00分	18時00分	19時30分		22時00分	24時00分	
起床	出発	勤務開始	電話・メール	打合せ等	ランチタイム	帰社・社内作業	資料作成・他	勤務終了	夕食	洗濯	身支度等	就寝